

2019 会 告 No.9



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2019)	(2020)
◇年会		3/15～17(関西大学)
◇秋季大会	秋季大会は開催しません ^{注)}	9/24～26(岩手大学)
◇支部大会		

注)APCCHE2019(2019年9月23日～27日 場所 札幌)開催のため

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
9月 September			
2～3	材料化学システム工学討論会2019(東京都)		7号11
2～3	第24回基礎化学工学講習会(東京都)		8号11
4	第6回ものづくり技術セミナー「ものづくりを支える粉体プロセス処理装置」(東京都)		8号11
5～6	「プラント計装制御-2」講座(東京都)		4号15
9～10	第24回基礎化学工学講習会(東京都)		8号11
9～11	基礎化学工学講習会(広島県)		8号13
12～13	第27回東北支部若手の会セミナー(山形県)		7号13
12～13	第24回東北ジョイント夏季セミナー(山形県)		7号13
16～17	第18回プロセスデザイン学生コンテスト(9/16)(神奈川県)および工場見学(9/17)(千葉県)		6号11
17～18	粉体エンジニア早期養成講座【粉体ハンドリングI(輸送・供給)】(埼玉県)		6号9
19～20	第24回基礎化学工学講習会(東京都)		8号11
21～22	2019年度化学系学協会東北大会(山形県)		
21	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)		7号8
23	熱物質流体工学セミナー2019(北海道)	9月13日(金)	7号11
27～28	第45回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ!～明日の日本を私が創る～」伊豆セッション(静岡県)		6号8
10月 October			
1	第25回実践化学工学講座(10/1～11/19の全11回)(大阪府)	9月6日(金)	7号15
1	第121回技術懇談会(東京都)	9月24日(火)	本号12
3～4	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算編(東京都)		8号8
5	第3回「しごとの常識」塾 ～基本編③ボトムアップ～(東京都)	9月30日(月)	
10	化学装置材料部会表面改質分科会公開講演(東京都)	9月25日(水)	本号12
10～11	入門触媒科学セミナー(大阪府)		7号15
11～12	第37回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(兵庫県)		本号13
16	2019年度第4回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)	10月9日(水)	本号12
18	第26回旬の技術・見学講演会「CO ₂ フリー水素利用アンモニア合成の最前線と水素エネルギーの世界再先端研究施設の見学」(福島県)		8号12
19	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		5号6
24	第19回上席化学工学技士交流会(東京)(神奈川県)	10月17日(木)	本号11

会 告

24～25	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		8号8
25～26	第45回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ！～明日の日本を私が創る～」東海セッション(愛知県)		6号8
30	先端技術を支える単位操作シリーズ「令和に生きる抽出技術～昭和・平成からの伝承～」(大阪府)		本号13
30	公開講演会「クライオ電子顕微鏡による生体分子立体構造解析の展開」(大阪府)		本号14
31	第1回企業幹部による熟議(東京都)		7号10
31～11/1	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(神奈川県)		6号9
31～11/1	「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(東京都)		8号8
11月 November			
1～2	熱工学セミナー(兵庫県)	9月17日(火)	本号12
7～8	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(栃木県)		6号9
7～8	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	10月31日(木)	8号9
8	反応分離シンポジウム2019(兵庫県)	10月30日(水)	本号13
9～10	第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(長野県)		7号14
14～15	粉体エンジニア早期養成講座【分級】(神奈川県)		6号9
14～15	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	10月21日(月)	本号14
20～22	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		8号9
26～27	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		6号9
27～29	「P&IDの作り方」講座(東京都)		8号10
28～29	第25回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB25) 第14回反応装置・プロセスシンポジウム(大阪府)	11月15日(金) (事前参加締切)	7号12
29～30	第45回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ！～明日の日本を私が創る～」東京セッション(東京都)		6号8
12月 December			
2～3	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		8号10
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		6号9
5～6	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(東京都)		本号10
16～17	化学工学会姫路大会2019 講演(兵庫県)	講演申込締切 9月30日(月)	8号12
2020年1月 January			
23～24	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		本号10
27～29	「反応器の設計」講座(東京都)		本号10
30～31	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		6号9
30～31	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		本号11
2020年3月 March			
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)		
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
9月23～27日	第18回アジア太平洋化学工学連合会議 APCChE 2019(北海道)		本号8
10月17～19日	2019 CIESC Annual Meeting (Qingdao, Shandong Province)		
10月20～23日	IMPRES2019 (The Fifth International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems) (石川県)		1号6
10月23～25日	KIChE Fall meeting (Daejeon Convention Center)		
11月8～9日	The 2019 TwIChE Annual meeting (東海大学, 台中)		
11月13～15日	2019年日台韓化学工学合同カンファレンス (JTK2019) (大分県)	9月6日(金)	本号16
12月7日	第32回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2019) (韓国大田市)		本号16

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp http://iypt.jp
腐食防食部門委員会 第329回例会 『実用に近づいた数値シミュレーション技術』(大阪府)	9月4日(水)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第67回年次大会 工学教育研究講演会(宮城県)	9月4～6日(水～金)	日本工学教育協 会・東北工学教育 協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
第25回成形加工テキストセミナー ーテキストシリーズ第Ⅲ巻 「成形加工におけるプラスチック材料」ー(東京都)	9月5日(木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jssp.or.jp http://www.jssp.or.jp
第36回エアロゾル科学・技術研究討論会(広島県)	9月5～6日(木～金)	日本エアロゾル学 会	075-415-3661 (075-415-3662) jaast@nacost.com http://www.jaast.jp/new/home-j.html
第41回安全工学セミナー「物質危険性講座」(東京都)	9月5～6日(木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第22回日本水環境学会シンポジウム(北海道)	9月5～6日(木～金)	日本水環境学会	03-3632-5351 (03-3632-5352) http://www.jswe.or.jp/event/symposium/index.html
PMシンポジウム2019(東京都)	9月5～6日(木～金)	日本プロジェクト マネジメント協会	03-6234-0551 (03-6234-0553) nakayama@pmaj.or.jp
19-2 関東支部高分子入門講座 「高分子を知らない技術者のための講座(その2)」(東京都)	9月6日(金)	高分子学会 関東支 部	03-3506-4711 k.hironaka@teijin.co.jp http://spsj.or.jp/branch/kanto/2019/07/16/0906-2/
Marine Biotechnology Conference 2019 (静岡県)	9月9～13日 (月～金)	マリンバイオテク ノロジー学会	03-6205-5601 (03-6505-5602) mbc2019@marinebiotechnology.jp http://marinebiotechnology.jp/mbc2019/
2019年度日本冷凍空調学会年次大会(東京都)	9月11～13日 (水～金)	日本冷凍空調学会	jsrae19@jsrae.or.jp https://www.jsrae-nenji.org/nenji2019/

第57回炭素材料夏季セミナー(福岡県)	9月12～13日 (木～金)	炭素材料学会 次世代の会	03-5389-6359 (03-5227-8632) tanso-summer@bunken.co.jp http://sample.wdc-jp.com/tanso/contents/event/seminar/summer-seminar57.html
第43回静電気学会全国大会(熊本県)	9月12～13日 (木～金)	静電気学会	03-3815-4171 iesj@iesj.org http://iesj.org/
第29回マイクロエレクトロニクスシンポジウム 秋季大会(大阪府)	9月12～13日 (木～金)	エレクトロニクス 実装学会	06-6878-5628 (06-6879-7568) mes@fa-mlo.com https://web.jiep.or.jp/event/mes.html
第21回日本感性工学会大会(東京都)	9月12～14日 (木～土)	日本感性工学会	jske21@jske.org https://www.jske.org/taikai/jske21
講演会「プラスチック問題－資源循環社会に向けての化学からの新たな取り組み」(東京都)	9月13日(金)	日本化学会 関東支部	03-3292-6163 (03-3292-6318) kanto@chemistry.or.jp https://kanto.csj.jp/event/2019/0528162453/
第169回講演会「フィルム成形技術を理解する」(東京都)	9月13日(金)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jsp.or.jp http://www.jsp.or.jp
日本流体力学会 年会2019(東京都)	9月13～15日 (金～日)	日本流体力学会	nenkai2019-ml@ucc.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/nenkai2019/
ケミカル マテリアル Japan2019(神奈川県)	9月18～19日 (水～木)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) ta_hirano@chemicaldaily.co.jp
第28回日本バイオイメージング学会学術集会・ 第6回国際バイオイメージングシンポジウム(東京都)	9月21～23日 (土～月)	日本バイオイメージング学会	03-3964-8239 (03-3964-8243) int-symp-bioimaging2019@pharm.teikyo-u.ac.jp https://www.int-symp-bioimaging2019.org/
No19-23 講習会「『伝熱工学資料(改定第5版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用」(東京都)	9月24～25日 (火～水)	日本機械学会 熱工学部門	t.shinohara@jsme.or.jp
資源・素材2019(京都) －2019年度資源・素材関係学協会合同秋季大会－ (京都府)	9月24～26日 (火～木)	資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2019b/top?lang=ja
未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西 (大阪府)	9月26日(木)	地球環境産業技術 研究機構	0774-75-2301 (0774-75-2314) pub_rite@rite.or.jp
第41回安全工学セミナー「危険現象講座」(東京都)	10月1～2日 (火～水)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
プラントエンジニアリング ASIA2019(バンコク(タイ))	10月2日～ 12月4日(水～水)	日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mra@jma.or.jp
第239回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(東京都)	10月10日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
第80回技術セミナー 「Q&Aで学ぶ電子機器・部品の腐食評価と防食技術」 (東京都)	10月11日(金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
第5回材料WEEK(京都府)	10月15～18日 (火～金)	日本材料学会	jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp

19-335 講習会「脱炭素社会における火力発電の未来」 (神奈川県)	10月16日(水)	日本機械学会 動力 エネルギーシステム 部門	03-5360-3505 morimoto@jsme.or.jp https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=19-335
環境・エネルギーシンポジウムシリーズ 環境・エネルギー新技術の展望「フェムトリアクターによる革新的化学合成法の可能性」(東京都)	10月16日(水)	産業技術総合研究 所	029-861-8271 akihiro-wakisaka@aist.go.jp
第67回レオロジー討論会(滋賀県)	10月16～18日 (水～金)	日本レオロジー学 会, 日本バイオレ オロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
粉体工業展大阪2019(大阪府)	10月16～18日 (水～金)	日本粉体工業技術 協会	03-5297-8855 info2019@powtex.com http://www.appie.or.jp
第36回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2019 (東京都)	10月16～18日 (水～金)	日本膜学会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
「化学の日／化学週間」記念ケミカルフォーラム2019 化学から未来を 化学の可能性(東京都)	10月23日(水)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861)
第60回高压討論会(北海道)	10月23～25日 (水～金)	日本高圧力学会	070-5545-3188 (020-4665-8596) touronkai60@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/60forum/
2019年度水素・燃料電池材料研究会講座(東京都)	10月25日(金)	高分子学会 水素・ 燃料電池材料研究 会	03-5540-3770 (03-5540-3737) https://member.spsj.or.jp/event/
第40回日本熱物性シンポジウム(長崎県)	10月28～30日 (月～水)	日本熱物性学会	03-5734-2435 (03-5734-2435) jstp@op.titech.ac.jp http://jstp-symp.org/symp2019/
2019年日本表面真空学会学術講演会(茨城県)	10月28～30日 (月～水)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
第56回石炭科学会議(愛知県)	10月29～30日 (火～水)	日本エネルギー学 会 石炭科学部会, コークス工学研究 部会, 重質油部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan56happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/668/
酸素工学研究会第82回講演会(東京都)	11月1日(金)	酸素工学研究会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
持続性社会のための材料とシステムに関する国際会議2019 (愛知県)	11月1～3日 (金～日)	名古屋大学未来材 料・システム研究 所	052-581-3241 (052-581-5585) icmass2019@intergroup.co.jp http://www.icmass.nagoya-u.ac.jp/
コロイドおよび界面化学討論会 第70回記念国際会議 (沖縄県)	11月3～8日 (日～金)	日本化学会コロイ ドおよび界面化学 部会	http://www.okinawacolloids.jp
第240回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題 から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(大阪府)	11月6日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
第62回自動制御連合講演会(北海道)	11月8～10日 (金～日)	日本機械学会	011-706-6408 (011-706-7889) kobay@eng.hokudai.ac.jp
プラスチック成形加工学会 第27回秋季大会(香川県)	11月12～13日 (火～水)	プラスチック成形 加工学会	089-927-9716 (089-927-9716) sympo2019@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/

第41回安全工学セミナー「プラント安全講座」(東京都)	11月14～15日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
実用表面分析セミナー2019(兵庫県)	11月18日(月)	日本表面真空学会 関西支部	072-653-8301 Daisuke.Sawada@kaneka.co.jp http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou22.html
第10回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(静岡県)	11月19～21日 (火～木)	日本機械学会 マイ クロ・ナノ工学部 門	daitsu@jsme.or.jp http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2019
第38回溶媒抽出討論会(佐賀県)	11月20～21日 (水～木)	日本溶媒抽出学会	0952-28-8669 (0952-28-8669) symposium@solventextraction.gr.jp http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/
第19回破壊力学シンポジウム(福島県)	11月20～22日 (水～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第57回燃焼シンポジウム(北海道)	11月20～22日 (水～金)	日本燃焼学会	011-706-6385 http://www.combustionsociety.jp/sympo57/index.html
第41回ドライプロセス国際シンポジウム(広島県)	11月21～22日 (木～金)	第41回ドライプロ セス国際シンポジ ウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2019@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2019/
EcoDesign2019 第11回環境調和型設計とインバースマニユ ファクチャリングに関する国際シンポジウム (神奈川県)	11月25～27日 (月～水)	エコデザイン学会 連合、産業技術総 合研究所	03-5841-6478 (03-5841-6478) ecodesign2019_secretariat@ecodenet. com http://ecodenet.com/ed2019/
第57回粉体に関する討論会(広島県)	11月25～27日 (月～水)	第57回粉体に関す る討論会	powder@hiroshima-u.ac.jp https://home.hiroshima-u.ac.jp/powder/funtai57/index.html
第33回数値流体力学シンポジウム(北海道)	11月27～29日 (水～金)	日本流体力学学会	cf33-admin@eng.hokudai.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd33/
第71回白石記念講座「地震と鋼材－阪神・淡路大震災か ら25年を過ぎて－」(東京都)	11月28日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu8ne0d9y
第46回炭素材料学会年会(岡山県)	11月28～30日 (木～土)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2019/index.html
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flow(ICJWSF-2019)(香港)	12月1～5日 (日～木)	ICJWSF-2019組 織 委員会	(852)2358-7184 ((852)2358-1543) icjwsf@ust.hk http://icjwsf2019.ust.hk
第9回潜熱工学シンポジウム(茨城県)	12月2～3日 (月～火)	日本潜熱工学研究 会	0294-38-5035 yanrong.li.mech@vc.ibaraki.ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/9thLatentheatSympo/9thSym-index.html
第39回水素エネルギー協会大会(東京都)	12月2～3日 (月～火)	水素エネルギー協 会	secretary@hess.jp http://www.hess.jp
第39回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月4～5日 (水～木)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第35回ゼオライト研究発表会(東京都)	12月5～6日 (木～金)	日本ゼオライト学 会	046-841-3810 knishi@nda.ac.jp https://www.jza-online.org/

日本学術会議公開シンポジウム 「第5回理論応用力学シンポジウム」(東京都)	12月9日(月)	日本学術会議総合 工学委員会・機械 工学委員会合同力 学基盤工学分科会	06-6879-7249 (06-6879-7249) kajisima@mech.eng.osaka-u.ac.jp
第33回分子シミュレーション討論会(愛知県)	12月9～11日 (月～水)	分子シミュレー ション学会	sympo@mol-sim.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj33/
第32回バイオエンジニアリング講演会(石川県)	12月20～21日 (金～土)	日本機械学会 バイ オエンジニアリン グ部門	bioconf19-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf19-2/
第41回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」 (東京都)	2020年1月27～ 28日(月～火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第36回エネルギーシステム・経済・環境・コンファレン ス(東京都)	2020年1月28～ 29日(火～水)	エネルギー・資源 学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jscr.gr.jp
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	2020年12月15～ 20日(火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org

APCChE2019(The 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress)

第18回アジア太平洋化学工学連合会議 開催概要

主催 公益社団法人 化学工学会
協賛 北海道、札幌市

〒060-0005 札幌市中央区北5条西7丁目
2-1

ホームページ <http://apcche2019.org/>

日時 2019年9月23日(月)～27日(金)

会場 札幌コンベンションセンター
〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目 1-1

懇親会会場 京王プラザホテル札幌

本国際会議APCChE2019は化学工学会秋季大会の代替として開催されます。化学工学に関連する通常のセッションに加えてコンgresステーマ “Chemical Engineering for Sustainable Development Goals (SDGs)” (持続可能な開発目標のための化学工学)に基づいたセッションも企画しています。国連が提唱している“誰もが安全で健康的な生活ができる社会”を実現するために化学工学がどのような貢献ができるのかを化学工学全般にわたる発表に基づいて討論します。

ment Goals (SDGs)” (持続可能な開発目標のための化学工学)に基づいたセッションも企画しています。国連が提唱している“誰もが安全で健康的な生活ができる社会”を実現するために化学工学がどのような貢献ができるのかを化学工学全般にわたる発表に基づいて討論します。

詳細は上記ホームページをご参照ください。

〈会議概要〉

Hall	Mon., 23rd	Tue., 24th Sep. 2019				Wed., 25th Sep. 2019				Thu., 26th Sep. 2019				Fri., 27th	
		9:00-10:00	10:30-12:00	13:30-15:00	15:30-17:00	9:00-10:00	10:30-12:00	13:30-15:00	15:30-17:00	9:00-10:00	10:30-12:00	13:30-15:00	15:30-17:00	9:00-12:15	
A	11:00-15:00 SP. Student Program	Opening, PL1	S1. APCChE-UNIDO Special Symposium (Inclusive and sustainable chemical industry in achieving the Sustainable Development Goals)			PL2	3[SC]. Heat transfer and thermal engineering	S6. Australia-China-Japan session for powder and nanotechnology		PL3, S10. Industry 4.0 and the future of chemical engineering		S6. Australia-China-Japan session for powder and nanotechnology		PL4, S2. SDGs forum Closing	
B	15:00-17:30 S4+S5	2. Fluid and particle processing													
C	12. Materials processing and interface control														
D	12[SC]. Materials processing and interface control				12. Materials processing and interface control										
E	9. Energy engineering								3. Heat transfer and thermal engineering						
F	S4. SCEJ-AIChE joint session: Bioseparation and bionanotech.		S5. SCEJ-ESBES joint session: Next generation downstream processing of biologics			S9. Diversity in chemical engineering		14. Chemical plant materials. eng.		8. Supercritical fluid technology					
G	11. Electronics materials and processes		5. Chemical reaction engineering					S7. Carbon capture, utilization, and storage (CCUS): Process development and fundamental properties							
H	5. Chemical reaction engineering														
I	13[SC]. Environment				13. Environment										
J	4. Separation processes														
K	7. Biochemical engineering														
L	7[SC]. Biochemical engineering								S3. East Asian joint session: Critical SDGs in highly industrialized economies						
M	S8. Materials and systems engineering for electrical energy devices – fuel cell, battery, solar cell, and energy carriers –														
N	6. Process systems engineering														
O	4. Separation processes				10. Process safety man. and technol.		1. Physical properties and physical chemistry								
P	17:00-19:00 Welcome reception	17:00-19:00 Poster session			17:00-19:00 Poster session										

コンgresディナー 9月26日(木) 18:00～20:30 京王プラザホテル札幌(JR札幌駅徒歩5分) 料金1万円(定員に達した段階でチケット販売中止)

Plenary Lecture (PL)

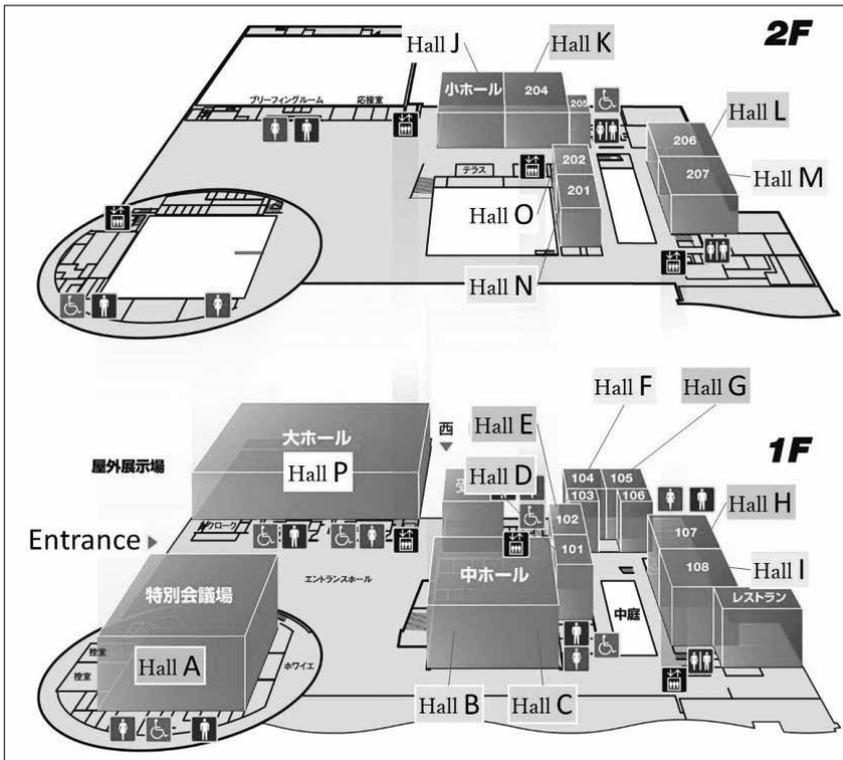
PL1 “Can biotechnology deliver cost effective fuels for transportation with reduced carbon footprint?,” Gregory Stephanopoulos, MIT

PL2 “Chemical Engineering: Relevance in a changing world,” Jonathan Seville, University of Birmingham

PL3 “Preparing chemical engineers for Industry 4.0,” David Shallcross, University of Melbourne

PL4 “Chemical engineering for SDGs,” Tadafumi Adschiri, Tohoku University
(PL1～PL3は9/24(火)～9/26(木)9:00～10:00；他のセッションはなし)

〈会場案内〉



ポスターセッション(Hall P)

2部貼り替え制

前半部掲示：9/23(月)15:00～9/24(火)19:00

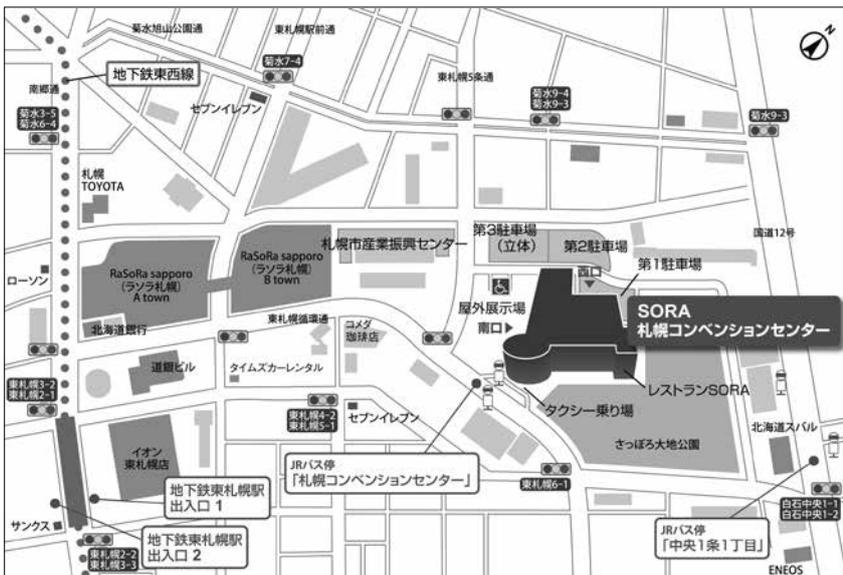
後半部掲示：9/25(水)10:30～9/26(木)15:30

ポスターボードサイズ

横90 cm × 縦210 cm (A0縦を推奨)

館内および敷地内はすべて禁煙です。

〈会場へのアクセス〉



〈当日参加登録料金〉

一般：70,000円

学生：30,000円

同伴者：10,000円

〈受付時間〉

9/23(月)15:00～19:00

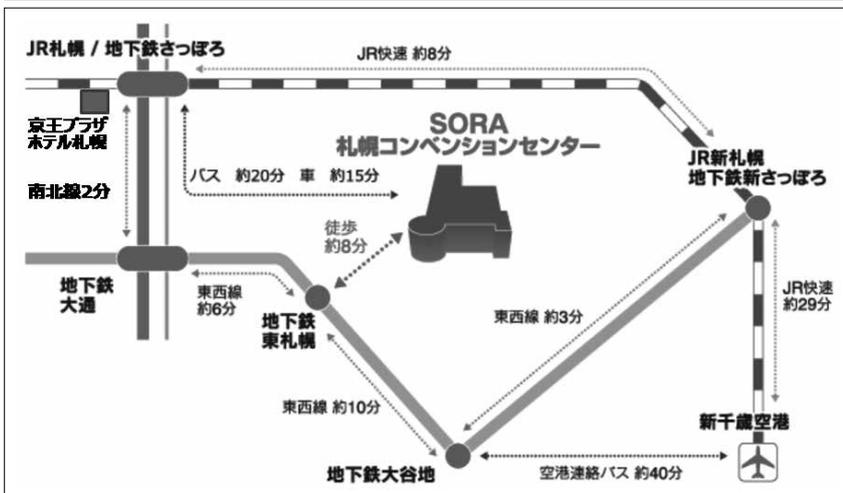
24(火)～26(木)8:30～18:00

27(金)8:30～12:00

〈事前参加登録者〉

国内在住で事前参加登録いただきお支払いを完了された方には、参加証一式(参加証、引換券、参加費領収書等)を事前送付いたしますので、当日受付にてご提示ください。

問い合わせ先 E-mail: AP2019@scej.org



人材育成センター

「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座 (改定第3回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年12月5日(木)～6日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・膜分離や膜反応器を扱う研究者・技術者(3～5年程度の経験者)
- ・プラントのプロセス設計を行う技術者(3～5年程度の経験者)
- ・膜分離設備設計技術者(3～5年程度の経験者)

講習目標 ガス分離膜・浸透気化膜の基礎を理解するとともに、ガス分離膜・浸透気化膜装置及び膜反応器の設計法を習得していただきます。また、実際のプラントに即した演習問題を解くことにより、設計法を理解していただきます。

受講のメリット

- (1) ガス系分離膜の基礎及び実際を学べます。
- (2) ガス系分離膜装置の設計法を学べます。
- (3) パーバーバレーション、蒸気透過について学べます。
- (4) 膜反応器について学べます。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- (6) 演習で使用したExcelファイルはお持ち帰りができます。

講座内容

第1日：12月5日(木)9:55～17:00(原谷氏)

諸連絡(9:55～10:00)

1. ガス系分離膜の基礎
2. ガス系分離膜の実際
3. ガス系分離膜装置の設計法

第2日：12月6日(金)9:30～16:30

4. PV・VPプロセスの基礎と応用(喜多氏)
5. PV・VPプロセス設計法(近藤氏)
6. 膜反応器の基礎(都留氏)
7. 膜反応器の設計基礎(都留氏)
8. 膜反応器の設計法(都留氏)

※演習用PCは当会でご準備致します。(但し14名限定)

講師 経験豊富な大学の先生や実務家

原谷賢治氏(独)産業技術総合研究所 客員研究員)

喜多英敏氏(山口大学大学院理工学研究科 教授)

近藤正和氏(元三井造船(株))

都留稔了氏(広島大学大学院工学研究科 教授)

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20pt(1日の場合10pt)を授与致します。また、修了証を授与された方には更に10pt(1日の場合5pt)を加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 14名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%)です。

個人正会員： 本体45,000円+税
維持会員/特別会員の社員：

地区会員の社員： 本体55,000円+税
会員外： 本体65,000円+税
なお、1日目のみ、或いは2日目のみの参加も受付致します。その際の参加費は次の通りです。
(1日間)個人正会員： 本体25,000円+税
(1日間)維持会員/特別会員の社員：

本体30,000円+税
(1日間)地区会員の社員： 本体35,000円+税
(1日間)会員外： 本体40,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「モデリング技術の基礎と実践」講座(改定第12回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2020年1月23日(木)～24日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・反応や各種単位操作に関連した現象のモデリング技術を学んで実践に生かしたい方
- ・企業経験3年程度以上の技術系の方

講習目標 プロセス設計、プラント運転にはプロセスシミュレータが広範囲に利用されています。シミュレータをより効果的に活用するには、基礎工学原理の理解が不可欠です。応用数学とモデリングの基礎を、手計算、Excel、方程式解法ソフトを用いながら学び、実験データからモデルをどう作るかについて、微分方程式・代数方程式の立て方と解き方を中心にした演習を行い、化学プロセスで取り扱う現象のモデリングについて実践的な基礎を学ぶ機会を提供します。

受講のメリット

- (1) プロセスシミュレーションモデリング技術に関する知識とアプローチの理解が深まり、実践に生かすことができます。
- (2) プロセスデータ・実験データを見た時に、関連したモデルを作成し、それを用いて考察する習慣をつけるための第一歩となります。

講座内容

第1日：1月23日(木)9:55～17:30

諸連絡(9:55～10:00)

1. 立式と解法の基本(EQUATRAN導入教育含む)
2. 反応操作
3. 気液平衡
4. (参考)プラントデータの解析
5. まとめ

※関数電卓は各自ご持参下さい。

※演習用PCは当会でご準備致します。

〈用いるソフトウェア〉方程式解法ソフト(EQUATRAN-G for Windows)を開発・販売元である株式会社オメガシミュレーション社のご好意により利用できます。

《ソフトウェアに関する受講者の知識》

1) Excel: ソルバー機能を使った経験

※ソルバー機能を使った経験が少ない方は、「化学工学」2004年7月号pp.382-386を自習されることをご推奨します。

2) 方程式解法ソフト: 不要(冒頭2時間強で、化学工学例題を用いて操作方法を説明します)

講師 熊谷善夫氏((株)PreFEED, 博士(工学))

及び、横山克己氏((株)PreFEED, 博士(工学))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%)です。

個人正会員： 本体45,000円+税
維持会員/特別会員の社員：

本体55,000円+税
地区会員の社員： 本体65,000円+税
会員外： 本体75,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「反応器の設計」講座(第33回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2020年1月27日(月)～29日(水)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学反応を扱う研究者・技術者
 - ・パイロットプラントの設計を行う技術者
 - ・プロセス設計技術者(2～5年程度の経験者)
- いずれも、Excelのゴールシーク、ソルバー機能の知見があること(知見無い方は予習要)

講習目標 気相反応器、液相反応器の設計、および反応器のスケールアップを行うための基礎知識を習得することを目標とします。特に、反応器周りの熱/物質収支について基本的な考え方を講義し、実験室データから実装置のプロセス設計ができるように、基礎を学んでいただきます。

また、オプション(3日目)では、流動層反応器の設計の基礎を学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) 既知の熱力学データを基に、気体反応の熱/物質収支を計算できるようになります
- (2) 実験室データからのスケールアップの考え方を習得でき、液相反応器の実装置の設計に役立つ知識を得られます。
- (3) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- (4) 最新の流動層反応器の知識を得られます。
- (5) 演習で使用したexcelファイルはお持ち帰りができます。

講座内容

第1日：1月27日(月) 兵藤氏
諸連絡(9:55～10:00)
1. 反応器概論(10:00～12:30)
2. 気体反応器－反応器廻りの熱収支・物質収支計算－(13:15～17:45)

第2日：1月28日(火) 寺井氏
3. 液相反応器の設計(9:30～16:30)
第3日(オプション)：1月29日(水) 渡辺氏
4. 流動層反応器の設計(9:30～12:30)

※初日、2日目に使う演習用PCは当会でご準備致します。(但し14名限定)

※なお、本講座の演習では、Excelのゴールシーク、ソルバー機能を使います。

ゴールシーク、ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号～2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等でご覧下さい。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。

講師 経験豊富なエンジニア陣
兵藤伸二氏(千代田化工建設(株)石油・化学・新エネルギープロセス設計部)
寺井 聡氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング統括本部)
渡辺康広氏(千代田化工建設(株)石油・化学・新エネルギープロセス設計部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 2日コースの方は受講証明書で20pt付与、更に修了証で10pt加算します。2.5日コースの方は受講証明書で30pt付与、更に修了証で15pt加算します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 14名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%)です。

(2日間)個人正会員(技工基礎割*)：
本体25,000円+税

(2日間)個人正会員：
本体45,000円+税

(2日間)維持会員/特別会員の社員：
本体55,000円+税

(2日間)地区会員の社員：
本体65,000円+税

(2日間)会員外：
本体75,000円+税

【2.5日間】個人正会員(技工基礎割*)：
本体30,000円+税

【2.5日間】個人正会員：
本体55,000円+税

【2.5日間】維持会員/特別会員の社員：
本体67,500円+税

【2.5日間】地区会員の社員：
本体80,000円+税

【2.5日間】会員外：
本体92,500円+税

*技工基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。

2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)

3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

「プロセス設計」講座
プロセス基本制御とPFD作成 編
(改定第4回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2020年1月30日(木)～31日(金)
場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方
・「P&IDの作り方」講座 受講予定者
・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(3～5年程度の経験者)
・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方
・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者
・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

講習目標 本講座では、中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき、更に流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んでいただきます。

受講のメリット
(1)化工物性、蒸留計算編(例年5月、10月)、塔・槽、熱交換器の設計編(例年6月、10月)、ハイドロリックの設計編(例年6月、11月)とともに本編を受講することで、プロセス設計の真髄を習得できます。
(2)「P&IDの作り方」講座(例年6月末、11月末)を受講する前の事前学習として有効です。
(3)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容
第1日：1月30日(木)13:00～17:00

諸連絡(13:00～13:05)
12. 蒸留塔周りの制御(13:05～15:25)

蒸留塔周りの制御の基本概念、圧力維持制御を考える、物質収支のための制御、熱収支のための制御、プロダクト品質のための制御、典型的な制御の例

13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)(15:35～17:00)

コンプレッサー、ポンプ、熱交換器

第2日：1月31日(金)9:30～16:30

13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)つづき(9:30～10:25)

並列ループへの流量配分

14. PFD作成実習(10:35～12:30&13:30～14:25)

PFDの目的、PFDに記載する内容、PFDの記号の書式、PFDの書式、実習

15. 計装・制御についての補足事項(14:35～16:30)

P&IDに表示されるべき項目、設備・機器の性能把握、装置のマクロ指標、異常検知のためのアラーム、安全対策

講師 経験豊富なエンジニア
永野健一郎氏(日揮(株)プロセステクノロジー本部プロセス技術部、上席化学工学技士、技術士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 24名(定員になり次第締切)

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される

税率(10%)です。
個人正会員(技工基礎割*)：

本体15,000円+税

個人正会員：
本体30,000円+税

維持会員/特別会員の社員：
本体37,500円+税

地区会員の社員：
本体45,000円+税

会員外：
本体52,500円+税

*技工基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。

2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)

3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

第19回上席化学工学技士交流会
(東京)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2018年までに188名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様との交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいませようお願い申し上げます。

日時 2019年10月24日(木)13:50～19:00

場所 千代田化工建設(株)会議室(みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩2分、または、JR「桜木町」駅下車徒歩18分)

〒220-8765 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-6-2 みなとみらいグランドセントラルタワー

アクセス：<http://www.chiyodacorp.com>

内容

13:40 千代田化工建設(株)IF受付前に集合
司会：上席化学工学技士(元三井化学(株)) 福原三郎氏

1. 参加者自己紹介、名刺交換(13:50～14:00)

2. 話題提供「脱炭素技術の動向と将来展望」(14:00～15:20)

上席化学工学技士(千代田化工建設(株)) 細野恭生氏

3. 話題提供「プラント爆発事故事例紹介と考察」(15:20～16:40)

上席化学工学技士(東亜合成(株)) 守谷 聡氏

4. 総合討論(16:40～17:00)

上席化学工学技士(元富士フィルム(株)) 辻本忠宏氏

(場所を移動)

5. 交流懇親会(17:15～19:00)

募集定員 24名(定員になり次第締切)
 申込締切 10月17日(木)厳守
 参加費(税込) 5,000円(請求書を送付致しま

す。必ず事前にお振り込み下さい。)
 ※今回は当日会場で現金でお支払いすることは
 できませんのでご注意ください。
 申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種
 申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会人材育
 成センター 資格制度委員会
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

産学官連携センター

第121回技術懇談会

第121回SCE・Net技術懇談会を下記により開催いたします。

今回の講演1では、レンファッド(株)の八木宏氏により、NKK(株)在職中に商用技術として完成したスラリー床DME直接合成技術の開発の経緯、そして水素キャリアとしての可能性など今後の展望をお話しいたします。講演2では、西村技術コンサルタント事務所代表(元松下電産(株))の西村尉辞氏により、各国のEV政策とそれに対応する企業の動向などを解説の上、EV用や太陽光発電用の電池の現状と、自動車メーカーの取組を通じて、本来のあるべき姿を提案いただきます。また、課題となる安全性に関し、国際標準化、危険物輸送法規の策定のプロセスを解説いただきます。

日時 2019年10月1日(火)15:00～18:00
 場所 化学工学会会議室
 東京都文京区小日向4-6-9(共立会館5F)
 TEL: 03-3943-3527
 東京メトロ丸の内線茗荷谷駅より徒歩2分

15:00～15:40
 講演1 「ジメチルエーテル(DME)プロセス開発の歴史と将来展望～バイオ原料からのDME製造、水素キャリアとしての期待～」

SCE-Net会員、レンファッド(株)、
 元千代田化工建設(株)、NKK(現JFE)(株)
 八木 宏氏

15:40～17:00
 講演2 「リチウムイオン電池の市場動向と技術法規対応」

西村技術コンサルタント事務所代表
 (早稲田大学招聘研究員)
 西村尉辞氏

17:00～18:00
 懇親会 講演会終了後、講師の方も参加していただき、情報交換、懇親の機会を設けます。

定員 35名
 会費 1,500円(当日会場受付でお支払いください)但しSCE・Netの法人会員は無料です。
 参加申込 お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所在地、Tel、Fax、E-mail)、懇談会出席の有無を記載して、E-mailで2019年9月24日までに、お申し込みください。
 申込先 SCE・Net事務局
 E-mail: scenet@scej.org

グローバルテクノロジー(GT)委員会 2019年度第4回委員会

日時 2019年10月16日(水)15:00開始

場所 名古屋工業大学 校友会館1階(正門入ってすぐ右手つき当たり)
 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
 JR中央本線または地下鉄鶴舞線 鶴舞駅下車 東へ徒歩約10分

講演会
 15:00～15:50
 「超高压湿式微粒化装置による粒子の微粒化」
 (株)スギノマシン 前田 巧氏

16:00～16:50
 「設備保温用途の発泡ゴム断熱材 Armaflexのご紹介」
 ウチヤマコーポレーション(株) 中山雄介氏
 懇談会

17:00～19:00 名古屋工業大学 校友会館1階

詳細 下記のURLをご覧ください。
<http://www.ach.nitech.ac.jp/~chemeng/GTHP/gttop.htm>

申込方法 懇談会参加の有無をご記入いただき、10月9日(水)までに下記連絡先のメールアドレス宛てにお申し込み下さい。
 講演会(参加無料)の直後、講師を囲んでの懇談会に参加される方は当日4,000円を申し受けます。

連絡先 GT委員会 庶務担当 南雲 亮
 E-mail: nagumo@nittech.ac.jp

部 会 C T

化学装置材料部会 公開講演

主催 化学工学会化学装置材料部会
 日時 2019年10月10日(木)14:05～17:00(受付:13:40～)
 場所 東工大蔵前会館3階 小会議室2
<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/floor/index.html>

趣旨 化学工学会・化学装置材料部会・表面改質分科会では、表面改質をはじめ関連する材料技術等の見識を深めることを目的に講演会を開催しています。今回、公開講演会を開催致しますので奮ってご参加ください。

プログラム
 「水蒸気を利用したアルミニウム合金の新表面処理技術」
 芝浦工業大学工学部材料工学科 芹澤 愛 先生
 「金属材料の化成処理について」
 日本パーカライジング(株) 小崎 匠氏

参加費 無料

申込締切 2019年9月25日(水)
 定員(20名)に達し次第締め切らせていただきます。
 申込・問合せ先 参加をご希望の方は、①お名前②ご所属③連絡先(所在地、TEL、E-mail)をご記入の上、下記連絡先にE-mailにてお申込みください。
 化学装置材料部会庶務幹事 荒尾与史彦助教(東京工業大学)
 E-mail: arao.y.ab@m.titech.ac.jp

化学工学会 熱工学セミナー

主催 化学工学会 熱工学部会
 共催 化学工学会 粒子流体プロセス部会、化学工学会 エネルギー部会、化学工学会 関西支部、化学工学会 関西支部 環境&資源エネルギー研究会、化学工学会 関西支部 CFD研究会、日本伝熱学会 関西支部、日本潜熱工学研究会、神戸大学工学研究科 複雑熱流体工学研究センター

趣旨 化学工学会熱工学部会では、熱工学に関

する実験的研究・数値的アプローチを広く議論するために、3件の著名な研究者によるご講演および若手研究者のポスター発表による「熱工学セミナー」を開催いたします。若手研究者のポスター発表に関しては、教員・シニア社会人による厳正なる審査を行い、優秀な発表に関して、熱工学部会賞を授与します。奮ってご参加ください。

日時 2019年11月1日(金)～11月2日(土)
 場所 かんぼの宿 有馬
 兵庫県神戸市北区有馬町1617-1

プログラム
 11月1日(金)
 13:00 受付
 13:30～13:40 挨拶
 13:40～16:40 若手研究者ポスターセッション
 16:40～16:50 写真撮影
 16:50～18:30 エクスカーション(温熱源の見学)
 18:30～21:00 懇親会・表彰式
 11月2日(土)
 7:00～8:30 朝食(各自)

9:00～9:10 挨拶
 9:10～10:00 「中性子ラジオグラフィを利用した可視化～超臨界水、重質油、合金を対象として～」
 東北大学大学院工学研究科 塚田隆夫 先生
 10:05～10:55 「マイクロ波照射による界面の特異現象」
 兵庫県立大学大学院工学研究科 朝熊裕介 先生
 11:00～11:50 「非圧縮速度・圧力場の離散的整合性と熱・物質輸送への応用」
 大阪大学大学院工学研究科 竹内伸太郎 先生
 11:50～12:00 挨拶
 12:00 解散

ポスター発表および参加申込み締切 9月17日(火)
 ポスター発表申込み要領 件名に「熱工学セミナー発表申込み」と記載し、以下の例のように発表者、所属、E-mailを記載してメールで下記申込み先に申し込んでください。なお、35歳未満の方であれば、社会人でも歓迎します。
 例：神戸太郎(神戸大院)、三ノ宮一郎(神戸大院工)、有馬泉子(神戸大学院工)「熱工学に関する研究」
 発表者氏名・所属：神戸太郎、神戸大学大学院M1、35歳未満
 発表者E-mail：taro@kobe-u.ac.jp

参加申込み方法 件名に「熱工学セミナー参加申込み」と記載し、参加者氏名、所属、一般・学生の別、宿泊等の情報、連絡先E-mailを記載して、下記申込み先にメールで申込み、1週間以内に下記口座に参加費を振り込んでください。研究室単位でまとめて振込していただいても構いません。
 例：神戸太郎(神戸大院)、学生、要夕食・宿泊・朝食、taro@kobe-u.ac.jp
 三ノ宮一郎(神戸大院工)、一般、要夕食・宿泊・朝食、ichiro@kobe-u.ac.jp
 有馬泉子(神戸大院工)、一般、夕食のみ、senko@kobe-u.ac.jp

参加費
 一般 18,000円
 夕食・宿泊・朝食が不要の場合：4,000円
 夕食有、宿泊・朝食なしの場合：8,000円
 夕食なし、宿泊・朝食有の場合：10,000円
 学生 14,000円
 夕食・宿泊・朝食が不要の場合：2,000円
 夕食有、宿泊・朝食なしの場合：4,000円
 夕食なし、宿泊・朝食有の場合：10,000円
 振込先 ゆうちょ銀行、四三八(438)、(普) 8331136、カガクコウガクカイネツコウガクブカイ 化学工学会熱工学セミナー
 発表・参加申込み先
 神戸大学大学院工学研究科 日出間 啓
 E-mail：hidema@port.kobe-u.ac.jp

化学工学会 反応工学部会 反応分離分科会 「反応分離シンポジウム2019」

主催 化学工学会反応工学部会「反応分離分科会」
 協賛 神戸製鋼所 神戸総合研究所、化学工学会分離プロセス部会、日本化学会近畿支部、有機合成化学協会関西支部、その他調整中
 日時 2019年11月8日(金)13:30～19:00(13:00受付開始)
 会場 神戸製鋼所 神戸総合技術研究所(〒651-2271 神戸市西区高塚台1丁目5-5)
 アクセス 三宮から神戸市営地下鉄西神山手線 西神中央行きに乗車頂き、終点の西神中央で下車。西神中央駅からタクシーで10分以内
 概要 反応と分離それぞれの要素技術が高度化しプロセスの効率化が進んだ現在では、反応と分離の二つを有機的に結合させ、さらなる高効率(省エネルギー)化およびコンパクト化を目指した反応分離プロセスの開発が必要と

なっています。今年度のシンポジウムは、マイクロ・フロー生産における反応および分離技術を中心に、一線で活躍される研究者をお招きしました。反応・分離の様々なプロセス・現象を活発に議論できる場になればと考えておりますので、ぜひ多くの方にご参加いただけることを願っております。

プログラム

(1)講演会(13:30～16:00)
 13:30～13:35 主催者挨拶
 大阪大学 西山憲和氏
 13:35～13:50 「神戸製鋼所の紹介(仮題)」
 神戸製鋼所 豊田振一郎氏
 13:50～14:40 「実生産用フローリアクターSMCR[®]-プロセス開発の進め方と分離・反応用途での開発事例-」
 神戸製鋼所 松岡 亮氏
 14:40～14:50 休憩
 14:50～15:40 「連続式振動流バツフル反応器を応用した分離プロセスの強化」
 神戸大学 堀江孝史氏
 15:40～16:30 「フローリアクターでいかに反応を制御するか」
 カネカ 大石孝洋氏
 (2)見学会(16:30～17:30)
 (3)技術交流会(17:30～19:00)

定員 50名
 参加費 化学工学会の会員1,000円(資料代のみ)、協賛団体の会員1,000円(資料代のみ)、反応工学部会の部会法人会員・法人賛助会員(反応分離分科会3名、その他の分科会1名)無料、学生1,000円(資料代のみ)、その他10,000円、技術交流会参加者は上記金額にプラス3,000円(学生1,000円)
 締切 10月30日(水)
 申込方法 E-mailにて、氏名、所属(会員の有無含む)、技術交流会の参加希望を明記の上、下記までお申し込み下さい。
 問合せ・申込先 関西大学 荒木貞夫
 TEL：06-6368-0950
 E-mail：araki_sa@kansai-u.ac.jp

地 域 C T

関 西 支 部

第37回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー

主催 化学工学会関西支部、化学工学会SIS部会プラントオペレーション分科会
 日時 2019年10月11日(金)13:10(12:30受付開始)～12日(土)16:00(1泊2日)
 会場 (株)ダイセル 西播磨研修センター
 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目14-1
 TEL：0791-58-1200
 〈交通〉JR山陽線、山陽新幹線 相生駅からバスで30分、タクシーで20分

スケジュール

第1日：10月11日(金)(13:10～20:30)
 1. 開会あいさつ、オリエンテーション
 2. グループ討議：テーマ「現場の第一線を支えるこれからの監督者のあり方」

①現場力の維持向上、②現場の安全確保、③技術伝承/若年者教育の進め方、④未来工場でのオペレーション、⑤その他(参加者希望テーマから)のサブテーマを設定し、参加者希望のグループに分かれて討議します。
 第2日：10月12日(土)(9:00～16:00)
 3. 講演：「日本の化学産業100年 事故から何を学んできたのか」
 (半田化学プラント安全研究所)半田 安氏
 4. グループ討議の続きとまとめ
 5. グループ討議結果の発表と質疑、講評
 アドバイザー(予定) 柘植義文氏(九州大)、野田 賢氏(福岡大)、川尻喜章氏(名古屋大)、黒岡武俊氏(富山大)、濱口孝司氏(名工大)、木村直樹氏(九州大)、伊藤利昭氏(元名工大)
 参加費 化学工学会会員41,000円、会員外51,000円(宿泊費および食費を含む)
 申込締切日 8月30日(金)ただし、定員(50名)になり次第締切(先着順)
 申込方法 標記行事名を題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)連絡先(住所、郵便・TEL・FAX番号、E-mail)、4)年令、5)会員資格、6)送金予定日、7)請求書の要否を明記のうえ、

下記宛にFAX、E-mail等にてお申込みください。参加費は「りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会関西支部」名義にご送金ください。
 ※参加者には9月下旬頃に参加証、詳細スケジュール、テーマ内容に関する資料等を送付致します。
 申込先 公益社団法人化学工学会関西支部
 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6F
 TEL：06-6441-5531 FAX：06-6443-6685
 E-mail：apply@kansai-scej.org

先端技術を支える単位操作シリーズ 令和に生きる抽出技術 ～昭和・平成からの伝承～

主催 化学工学会関西支部
 協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、日本機械学会関西支部、分離技術会、有機合成化学協会関西支部

日時 2019年10月30日(水)10:00～18:30
 会場 大阪科学技術センター4階405号室
 大阪市西区靱本町1-8-4
 TEL: 06-6443-5324
 〈交通〉地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番
 出口より北へ徒歩約7分、靱公園北詰め

E-mail: apply@kansai-scej.org

公開講演会「クライオ電子顕微鏡 による生体分子立体構造解析の展開」

主催 近畿化学協会
 共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2019年10月30日(水)14:00～18:50
 会場 大阪科学技術センター6階602号室
 (大阪市西区靱本町1-8-4)
 〈交通〉Osaka Metro (地下鉄) 四つ橋線「本
 町」駅25・28番出口を北へ徒歩約5分、う
 つほ公園北詰

プログラム

1. クライオ電子顕微鏡による生体分子立体構造
 解析法の原子分解能をめざした技術開発
 (阪大院生命機能・理研)難波啓一氏
2. クライオEMデータを活用した生体分子ハイ
 ブリッド構造モデリング
 (理研)宮下 治氏
3. 状態の異なる電子顕微鏡像からのダイナミク
 ス推定とMDデータ解析による重要残基の推
 定
 (QST)河野秀俊氏

懇親会 於: ATRIO CAFÉ

定員 25名

参加費 共催団体所属会員5,000円、近畿化学協
 会コンピュータ化学部会・近畿化学協会学識
 会員 無料、会員外10,000円、懇親会費3,000円

申込方法 HP ([http://www.kinka.or.jp/form/view/
 index.php?id=28](http://www.kinka.or.jp/form/view/index.php?id=28)) よりお申込みください。また
 は、E-mail等にて標記行事名を題記し、1) 参
 加者氏名、2) 勤務先(所属)、3) 連絡先(TEL、
 E-mail)、4) 懇親会参加の有無を明記のうえ、
 下記宛てにお申込みください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大
 阪科学技術センタービル6F)
 一般社団法人 近畿化学協会コンピュータ化学
 部会
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: seminar@kinka.or.jp

ナノ材料の表面分析講習

主催 近畿化学協会触媒・表面部会
 共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2019年11月14日(木)～15日(金)
 会場 近畿大学マルチメディア会議室B館10階
 (大阪府東大阪市小若江3-4-1)
 〈交通〉近鉄大阪線「長瀬」駅下車 徒歩約15
 分、または近鉄奈良線「八戸ノ里」駅下車
 徒歩約20分

第1日目・14日(木)9:45～17:45

開会挨拶 (京大院人環)吉田寿雄

1. 表面分析概論 (関大環境都市工)池永直樹
2. 組成分析(AAS, ICP-AES, XRF)
 (阪府大院工)亀川孝
3. 顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM)
 (近畿大理工)田中淳皓
4. X線回折(XRD)
 (阪市大複合先端研究機構)東正信
5. X線吸収微細構造(XAFS)
 (京大際際融合)朝倉博行

6. 紫外可視・光ルミネセンス(UV-vis, PL)
 (京大院人環)山本旭
7. 赤外・ラマンスペクトル(FT-IR, Raman)
 (関大環境都市工)福康二郎

第2日目・15日(金)9:30～16:45

8. 電子スピン共鳴(ESR)
 (阪府大院工)松岡雅也
9. 核磁気共鳴(NMR)
 (阪大院基礎工)水垣共雄
10. 質量分析(MS) (神戸大院工)谷屋啓太
11. 昇温スペクトル(TPD, TPR)
 (阪大院工)桑原泰隆
12. 光電子分光法(XPS, UPS)
 (阪府大院工)堀内悠
13. 総論・ケーススタディー
 (阪市大複合先端研究機構)吉田朋子

閉会挨拶 (京大院人環)吉田寿雄

参加申込締切 10月21日(月)

参加費 (両日参加)共催団体会員30,000円、近
 畿化学協会触媒・表面部会法人会員25,000円、
 一般40,000円、学生8,000円
 (何れか1日参加)共催団体会員20,000円、近
 畿化学協会触媒・表面部会法人会員15,000円、
 一般30,000円、学生8,000円

参加申込方法 HP ([http://www.kinka.or.jp/form/
 view/index.php?id=2](http://www.kinka.or.jp/form/view/index.php?id=2)) からお申込みの上、参加
 費は銀行振込(三井住友銀行備後町支店・普通
 預金No.1329441一般社団法人近畿化学協会)
 または現金書留にて送金下さい。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大
 阪科学技術センター6階) 近畿化学協会触媒・
 表面部会
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: catal@kinka.or.jp

プログラム(質疑応答時間含む)

開会挨拶(10:00～10:05)

1. ミキサーセトラー抽出塔の解析 (10:05～
 11:35)
 (名大名誉)高橋勝六氏
2. MSカラムの作動原理と運転実績 (11:35～
 12:25)
 (関西化学機械)野田秀夫氏
3. 溶媒抽出分野への遠心抽出機の適用性
 (13:30～14:20)
 (タナベウィルティック)大和敦司氏
4. 大容量マイクロチャンネルリアクタSMCR®
 の液液抽出プロセスへの適用 (14:35～
 15:00)
 (神戸製鋼)松岡 亮氏
5. 亜臨界水を利用した抽出プロセス (15:20～
 16:10)
 (木村化工機)笹田 慶氏
6. 抽出工程のスケールアップ(16:10～17:00)
 (アンリ・コンサルティング)森川安理氏
 講演者によるパネル展示×情報交換懇親会(ミ
 キサー)(17:10～18:30)

於: 同所地下1階B102号室

参加申込締切 定員(50名)になり次第締切

参加費 主催・協賛団体正会員19,000円、主催・
 協賛団体会員23,000円、学生会員3,000円、
 大学・公設機関7,000円、会員外学生5,000円、
 会員外37,000円(何れもテキスト代、消費税込)

参加申込方法 Webの参加申込フォームをご利
 用ください。またはE-mail等にて標記行事名
 を題記し、(1)受講者氏名、(2)勤務先・所属、
 (3)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、(4)
 会員資格、(5)送金方法(予定日)、(6)請求書
 の要否を明記のうえ、下記宛てにお申し込
 みください。参加費は銀行振込「りそな銀行御堂
 筋支店普通預金No.0405228 公益社団法人化学
 工学会関西支部 名義」をご利用ください。参
 加申込者には10月中旬にE-mailにて参加証を
 送付いたします。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご
 所属の場合でも「主催・協賛団体」として
 取扱いたします。

申込先 (公社)化学工学会関西支部
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学
 技術センター6階
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

お知らせ

2019年度 第19回 GSC 賞 候補業績募集のご案内

受賞対象 『グリーン・サステナブルケミストリー賞』

グリーン・サステナブルケミストリー(GSC)の推進に貢献する優れた業績に対して贈られます。

※GSCとは…人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学

- ・経済産業大臣賞：産業技術の発展に著しく貢献した業績
- ・文部科学大臣賞：学術の発展・普及に著しく貢献した業績
- ・環境大臣賞：総合的な環境負荷低減に著しく貢献した業績
- ・ベンチャー企業賞・中小企業賞：中小規模の事業者による業績
- ・奨励賞：将来の展開が期待できる業績

ベンチャー企業賞・中小企業賞受賞業績には、1業績あたり賞金50万円を贈呈します。

応募要領 公益社団法人新化学技術推進協会 (JACI) webサイトのGSC賞ページ (http://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html) から申請して下さい。

締切 JACI webサイトからの申請 2019年11月22日(金)17時厳守
応募資料(業績説明書等)の提出 2019年11月25日(月)17時必着

問合せ先 公益社団法人新化学技術推進協会
E-mail: gscn19@jaci.or.jp
TEL: 03-6272-6880

求人

☆久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教員募集☆

募集人員：講師または助教1名

専門分野：化学工学

- 応募資格：(1)採用時に博士の学位を有するか取得見込みの人、または、技術士(化学部門)の資格を有する人
(2)工業高等専門学校の教育・研究・学生指導に熱意を持つとともに、学校運営にも積極的かつ協調的に参画できる人
(3)産学連携等の共同研究展開と社会貢献に熱意のある人

応募締切：2019年10月31日(木)必着

問合せ先：〒830-8555 久留米市小森野1-1-1

久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 梶 隆彦

TEL：0942-35-9426 FAX：0942-35-9400

E-mail：kakoi@kurume-nct.ac.jp

※詳細は、本校ホームページ内の教員公募をご覧ください。

<http://www.kurume-nct.ac.jp/ON/P-GAD/koubo/koubo.html>

「化学工学」誌会告欄執筆基準の周知について

化学工学誌における会告原稿について下記の基準を設けております。情報伝達の効率化とスリム化のための措置であり、特段のご配慮を戴きたくお願いいたします。(なお、原稿は掲載月の前々月25日迄に、日本印刷(株)(秋山)、E-mail <edit@npc-tyo.com>までWORDの添付ファイル形式でお届け下さい。)

尚、会誌掲載原稿は学会のホームページにも掲載します。

記

特に記載のある場合以外はすべての案内記事を1回掲載とし、会告欄掲載以降は実施月までカレンダーに掲載し、案内収録号参照とする。一つの案内記事内に重複情報は入れないように配慮する。

(本部関係)

- 集会(年会、秋季大会)、参加案内記事
 1. 講演募集およびシンポジウムテーマ募集は1回掲載
 2. 参加募集は3回掲載(内1回は予告)
 3. プログラムは1回掲載
- 会費納入案内は3回掲載
- 総会案内は2回掲載

(支部・各部門関係)

- 支部大会参加案内記事
 1. 講演募集は1回掲載
 2. 参加募集は2回掲載
 3. プログラムは1回掲載
- その他集会(講習会、講演会、学生行事など)
 1. 1回掲載とする。
 2. ア) 内容プログラムがある場合は前文は書かない。(企画意図、開催意義などはプログラム内容で判断できる。)イ) プログラムがなく内容説明が不可欠の場合は数行程度で簡潔に記載する。(会告記事としてあたりまえのことは記載しない。例：多数の参加をお待ちします。一会告を出すのは参加を呼びかけるのが目的であるからこのような記載は不要—)
 3. 内容プログラムは実質部分のみとする。(羅列的に記述せず、内容としての要点のみとする。一例：開会・終了挨拶などは削除)
 4. 参加要領等(参加申し込み方法、参加費支払方法など)は必要最小限の情報とする。

求人情報

- 必要最小限の情報(機関名・人員・専門分野・応募資格・応募締切日・問合せ先・TEL・E-mail等)にとどめる。

共催・協賛行事等案内

- 原則として、カレンダーのみとする。

図書等(学会＝本部・支部刊行)案内

- 内容を数行で紹介することを標準とする。(目次の羅列的介绍は行わない)

追記：上記基準を逸脱している原稿については、情報サービスセンター長の判断で内容変更を伴わない配慮をした上で短縮します。

以上